

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	技術倫理	
科目基礎情報							
科目番号	0025		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	機械・電子システム工学専攻		対象学年		専2		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	指定しない。必要な資料はプリントで配布する。						
担当教員	小谷 俊博						
到達目標							
・ 一般的な倫理学理論および技術者倫理に特化した理論を理解すること ・ 技術者の社会における位置づけおよび役割を理解すること ・ 技術者が実際に直面した事例をもとに、どのような倫理的判断が可能かについて展望を持つことができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	技術者に特有の倫理問題とは何かを明確に説明できる。		技術者に特有の倫理問題とは何かをある程度説明できる。		技術者に特有の倫理問題とは何かの説明できない。		
評価項目2	技術者が直面してきた具体的な事例について明確に説明できる。		技術者が直面してきた具体的な事例についてある程度説明できる。		技術者が直面してきた具体的な事例について説明できない。		
評価項目3	倫理問題に直面した際に適切に議論することができる。		倫理問題に直面した際にある程度議論することができる。		倫理問題に直面した際に議論することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
JABEE A-2							
教育方法等							
概要	講義により基本知識を獲得し、小テストあるいはレポート課題によりその習得を目指す。						
授業の進め方・方法	知識習得のための講義を中心とするが、講義内では課題やディスカッションの機会も設ける。なお、この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習としてレポートやプリントによる課題を実施します。						
注意点	自分が今後遭遇する可能性のある問題が扱われていることを自覚することが大切である。その上で、知識の習得と併せて、自分自身の考えを構築していこうとする努力が必要である。また、英語の文献を扱うことがある。予習・復習の課題として出すこともあるが、英語文献の基本的な読解力はエンジニアにとって必須であることを理解し、積極的に取り組むこと。講義内で、英文読解についても簡単な説明は与える。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション			講義の方針等について理解する。	
		2週	技術者倫理の基礎知識①			説明責任、製造物責任等の基本的な知識を習得する。	
		3週	技術者倫理の基礎知識②			法令遵守の重要性および情報倫理の基本的な知識を習得する。	
		4週	技術者倫理の基礎知識③			持続可能性を含めた環境倫理の基本的な知識を習得する。	
		5週	技術者倫理の基礎知識④			国際社会における技術者の役割と責任について考える。	
		6週	技術者倫理の基礎知識⑤			知的財産についての基本的な知識を習得する。	
		7週	リスク①			リスクの基本的な考え方を理解する。	
		8週	リスク②			リスク認知の概要を理解する。	
	4thQ	9週	リスク③			リスクコミュニケーションの概要を理解する。	
		10週	ヒューマンエラー①			ヒューマンエラーとは何かについての基本的な考えを理解する。	
		11週	ヒューマンエラー②			ヒューマンエラーが起こる背景について理解する。	
		12週	ヒューマンエラー③			ヒューマンエラーの観点から、現場の改善について考える。	
		13週	ヒューマンエラー④			安全のための態度や防護の方法について理解する。	
		14週	ケーススタディ			近年の技術者倫理で問題になるトピックを学び、技術者倫理で学んだ内容をどのように活かすことができるかを理解する。	
		15週	全体のまとめ			講義を総括し、今後に活かすべき課題を理解する。	
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0